



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



ハマ田のお客様たち (撮影：ハネひとみさん)

野鳥さが206号 主な内容

- 2016年度支部総会報告 -----2ページ
- 「キビタキ」「イソヒヨドリ」の情報募集 -----3ページ
- ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報 -----4ページ
- 支部からのお知らせ -----5ページ
- 各地の観察会報告 -----6ページ
- 皆さんからのおたより -----8ページ
- 有明海の満潮時刻 -----20ページ
- 最近の新聞・情報誌の記事から -----21ページ
- 近隣地区の観察会情報 -----22ページ
- 観察会会場までの案内 -----23ページ
- 観察会などのお知らせ（2016年8月～9月） -----24ページ



2016年度支部総会報告

(支部長:宮原明幸)

【日時】 2016年5月29日(日曜日)

【会場】 竜門峡キャンプ場山の家 講習室

【出席者】 青柳隆、青柳良子、江里口立子、加藤芳隆、蒲原留美、佐久間仁、島田洋、田中丸雅雄、長岡保、中原正義、中村さやか、中村翠、中村安弘、二宮尚子、橋本泰博、馬場清、松原忠夫、宮崎浩二、宮原明幸

【報告】

探鳥会に引き続きの支部総会のスケジュールでしたが、探鳥会はどしゃ降りの雨で、山の家周辺で囀る鳥の声を聴きました。

※こんな雨の中、佐世保より大藤和浩・孝子さんご夫婦の参加もありました。

【観察出来た鳥】 キジバト、カワウ、コゲラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、オオルリ、スズメ、ソウシチョウ、(カジカガエル)

支部総会は、10時より橋本泰博さんに司会を、青柳隆さんに議長をお願いして議事を進めました。検討の結果、支部報と共に皆様へ案内致しておりました『議案書』より下記の部分を修正致しました。

記

4. 「愛鳥・自然保護意識の啓発活動」に追加

・竹下製菓「ブラックモンブラン」に支部より感謝状贈呈(支部報204号)

7・8・9ページ 「前期繰越」を「前年度繰越」に変更。

7ページ 一般会計・収入の部の 諸収入「資料代等」を「保険・資料代」に変更。

9ページ 受託事業会計・収入の部 「愛鳥普及事業受託費」を「カラス調査受託費」に。
支出の部・需用費「愛鳥普及事業受託費」を「巣箱用木材・クギ・製材所借用代」とする。

11 ページ 4. 野鳥、野生生物の保護、環境保護への取り組み (オ) に関して
「愛鳥モデル校が干潟近くの学校に決まるよう佐賀市・鹿島市へ働きかける。」を追加する。

12 ページ その他の イ) は 内規とし 議案書からは削除する。

14 ページ 支出の部 旅費を 150,000 とし、
調査研究費・普及活動費を合わせて 60,000 とする。

16 ページ 役員名簿

中村安弘を調査研究部から 事務局へ移動。

修正箇所は以上です。

その他については承認されました。

これからも、皆で力を合わせ佐賀県支部のさらなる発展に向け活動して行きましょう。
ご協力、宜しくお願い致します。





「キビタキ」「イソヒヨドリ」の情報募集 (副支部長:佐久間仁)

この5月から7月の「キビタキ」「イソヒヨドリ」の確認情報をお寄せください!

調査研究事業の重要性は総会などでいつも話題になるのですが、諸事情でなかなか進みません。 ついては、当面、私(佐久間)が暫定窓口になって、対象鳥種を絞るなど可能な範囲からデータ収集や取りまとめに着手し、データの集め方など検収しつつ、早めに調査担当の皆さんに引き継いでいきたいと思えます。

【当面の対象鳥種】キビタキ、イソヒヨドリ

【対象】2016年5月~7月(繁殖期)の県内での記録

【対象エリア】佐賀県内全域

【報告願いたい内容】①確認した期日・時間・天候、

②場所(できれば大字・小字など詳しく。 環境省メッシュ番号が分かればその番号)、

③羽数、④その時の行動(囀り、餌運び、飛翔など)、⑤その他気づいた特徴、

【報告方法】①以下のアドレスまでeメールでお送りいただくか、FAXで。 ②お葉書等でお知らせください。

《Eメール》アドレス hkis_sakuma3@yahoo.co.jp (sとsの間にアンダーバーあり。)

《TEL・FAX》0952-30-7303

《郵送》〒847-0012 唐津市大名小路2-11 佐久間仁 宛

【その他】 1) 調査対象を「キビタキ」「イソヒヨドリ」にした理由

本来、もっと多くの種類を調査すべきですが、物理的な制約に加えて、

- ・キビタキ:ここ数年、全国的に急速に繁殖エリアを広げ、個体数も増加していること。
 - ・イソヒヨドリ:従来、海岸沿いの岩礁地帯に分布していたものが、二十年ほど前から内陸に進出し始め、現在では海岸から数十kmの内陸部でも繁殖し始めていること。
- と、その生態が急激に変わりつつある鳥種であり、最初の調査対象に挙げています。

2) データの公表方法等について

場所については、原則として年度ごとに環境省の県別メッシュマップに基づき整理しますが、詳しい元データや報告者のお名前の公表は当面控えます。また、今後の調査で、希少種や絶滅が危惧される種などについては、マップ自体も公表しない予定です。

【報告例1 《鳥種》キビタキ】《日時》2016年6月3日(金)09:00 晴れ《場所》唐津市養母田鬼塚旧鬼塚中学校北側の山 メッシュ番号5029-07-88 《羽数》1羽 《行動》盛んに囀っていた。
《その他》15年ほど前の6月の支部総会時、北山少年自然の家近くで囀りを耳にしたことがあったが、標高50mほどの低山域で囀っているとは驚いた。

【報告例2 《鳥種》イソヒヨドリ】《日時》2016年6月7日(火)17:00 曇り《場所》唐津市和多田本村 メッシュ番号5029-17-18 《羽数》♂1羽 《行動》パチンコ店駐車場の照明灯の上で盛んに「ヒ、ヒ、ヒ…」と。 ショウキビタキそっくりな声だったが、姿はイソヒヨドリ。
《その他》鳴きながら頻りに駐車場に降り立ち、餌をとっていた様子だった。





ようこそ 佐賀県支部へ！ …支部入会者情報 (副支部長:青柳良子)

「会員を増やしたい！」毎年 総会ではその話題が出ています。そこで最近入会された方を「大歓迎！！」の意味を込めてご紹介いたします。

これから随時お知らせしていこうと思っておりますが、今回は 2016 年 1 月にさかのぼってお知らせすることにしました。

- 1 月 長岡 保さん(長崎・波佐見町)・川原 直嗣さん(唐津市)・
- 2 月 古川 恵子さん(佐賀市)
- 3 月 古川 昌高さん(小城市)・塘 健さん(白石町)・古川 温美さん(唐津市)
- 4 月 大川 園代さん(吉野ヶ里町)・古賀 郁香さん(佐賀市)
- 5 月 仲村 望さん(佐賀市)・清水 恵弘さん(久留米市)
橋本 宣弘さん(福岡・志免町)・徳淵 義実さん(鳥栖市)
- 6 月 吉澤 進さん(佐賀市)・宮崎 浩二さん(小城市)
- 7 月 北村 穂乃果さん(福岡市)

以上 15 名の方々をお迎えして、佐賀県支部は 209 名(会員 170 名・家族会員 39 名)となりました。

観察会や学習会・環境フェスタなどのイベントに是非積極的にご参加下さい。
お待ちしております！

野鳥の会会員の皆様！

みなさまの周りに花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃいませんか？ 観察会などにお誘いしてみてください。

野鳥の会は「いつでも入会 OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。

- 今年度の支部の目標は「会員数 220 名を目指して！」です。
どうぞよろしくお願い致します。

入会に関する件でご質問がございましたら 青柳良子 (090-1659-7353) までお気軽にお電話ください。





支部からのお知らせ

会員の皆様に参加していただきたい催しの予定が2件ありますのでお知らせ致します。

1. 「探鳥会リーダーズフォーラム in 西日本」(日本野鳥の会 主催)

【日時】2016年10月29日(土)13時~30日(日)12時まで

【場所】六甲山YMCA(兵庫県神戸市)

- ・ゲスト：上田恵介氏(日本野鳥の会副会長)
- ・定員 50名
- ・参加費 1万円

※昨年までは東京・八王子市で行われていましたが、今年は東日本・西日本と2か所で開催されることになり、近くて参加しやすくなりました。支部活動のリーダー養成の目的もありますので、参加費など支部から援助をします。(予算の範囲内)ご希望の方は 宮原(090-2507-7085)・中村(080-8863-5659)・青柳(090-1659-7353)のいずれかにご連絡ください。

2. 「2016 さが環境フェスティバル in 森林公園」

(さが環境コラボ事務局 特定非営利活動法人 温暖化防止ネット 主催)

【日時】2016年11月12日(土)・13日(日)10:00~16:00

【場所】県立森林公園(佐賀市久保田町)

※昨年は どん³の森でしたが 今年森林公園になりました。私達の支部も出展して野鳥を護るための環境保全を訴える機会にしたいと思っています。

- ・野鳥写真展・カササギの巣や写真の展示・エサ台づくり・カササギバッジの販売・などを予定しています。

来場者に参加していただく作業として「牛乳パックのエサ台づくり」を考えています。他に何かいいアイデアがあれば 青柳(090-1659-7353)までお知らせください。

なお、1ℓのパック(牛乳でもジュースでも)を捨てずにとって置いて下さい。

(観察会の時にでも 青柳までお届けいただければ有難いです。)

前日の準備から 皆様にご協力をお願いすることになります。

次の支部報でお知らせしますのでよろしくお願い致します。

日本野鳥の会本部に寄付

2016年6月1日付けで、(公益財団法人)日本野鳥の会にバードメイトの寄付を行いました。寄付額は10,000円です。お礼状をいただいています。





各地の観察会報告



■見島探鳥ツアー報告（山口県萩市）

【日時】 平成28年4月29日～5月1日

【参加者】青柳良子、加藤芳隆、蒲原留美、田中照美、徳渕義実、豊岡三郎、中島由美子、中原正義、丹羽昭一、橋本泰博、八木ひとみ、宮崎八州雄、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】ヒドリガモ、カルガモ、カイツブリ、カラスバト、キジバト、オオミズナギドリ、ハシボソミズナギドリ、ヒメウ、ウミウ、アマサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、ハリオアマツバメ、ムナグロ、オオジシギ、チュウジシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、タカブシギ、イソシギ、オジロトウネン、アカエリヒレアシシギ、ウミネコ、ミサゴ、ハチクマ、トビ、ハイタカ、サシバ、ヤツガシラ、カワセミ、チョウゲンボウ、チゴハヤブサ、ハヤブサ、サンショウクイ、サンコウチョウ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、ヒヨドリ、キマユムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、メジロ、オオヨシキリ、セッカ、ギンムクドリ、ムクドリ、コムクドリ、マミチャジナイ、シロハラ、ツグミ、ノビタキ、イソヒヨドリ、コサメビタキ、ミヤマヒタキ、キビタキ、オオルリ、スズメ、イワミセキレイ、キマユツメナガセキレイ、キタツメナガセキレイ、シベリアツメナガセキレイ、マミジロツメナガセキレイ、キガシラセキレイ、キセキレイ、ハクセキレイ、タイワンハクセキレイ、ホオジロハクセキレイ、ビンズイ、ムネアカタヒバリ、タヒバリ、アトリ、カワラヒワ、マヒワ、イカル、カシラダカ、シマアオジ、ノジコ、アオジ

（コメントは長文のため「皆さんからのお便り」ページに掲載しています。）

■バードウィークー斉探鳥会・脊振山観察会報告（神崎市）

【日時】 平成28年5月15日

【参加者】青柳良子、上野武美、岡崎章、蒲原留美、澁江拓司、城本武千代、高山英一、高山保典、峰松小百合、吉澤進、宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】キジバト、アオバト、カッコウ、トビ、ハイタカ、コゲラ、アオゲラ、モズ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ミソサザイ、キビタキ、オオルリ、キセキレイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ、ソウシチョウ

【案内役からの一言】

日本野鳥の会本部より依頼がありましたバードウィークー斉探鳥会。当支部では新緑の脊振山で実施しました。バードウィークー斉探鳥会は、会員以外の参加者を増やすようにとの本部よりの指示でしたので、マスコミへの案内にも注力致しました。結果、会員以外5人の参加がありました。

脊振山は、曇天で風も出て少し肌寒い陽気でした。鳥は、ソウシチョウがうるさく囀る中、合間を縫って聞えてくる夏鳥の歌を楽しみました。

■有田・竜門峡観察会報告（有田町）

雨のため簡易的に実施。支部総会報告（2 ページ）の冒頭に掲載しています。

■石井樋公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 28 年 6 月 5 日

【参加者】 宮原明幸、古賀郁香、田中照美、西川正記、長岡保、吉澤進、中原正義、永島博、高山英一、久富文江、蒲原留美、加藤芳隆、青柳良子（案内役）

【観察された野鳥】 カワウ、カルガモ、ダイサギ、アオサギ、キジバト、アマツバメ、カワセミ、コゲラ（声）、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス（声）、シジュウカラ（声）、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス

【案内役からの一言】

今回のお目当ては 毎年姿を現してくれる「アオバズク」でしたが・・・
残念ながら居ません！ 昨日梅雨入りが発表されたばかりの空はどんより・時々
小雨。 空を見上げているのか、もしかして・・・とアオバズクを求めて ムクノキ
を見上げているのか、み～んな上を見ながらゆっくりと歩を進めて行きました。
カワセミが「チー！」と鋭い声をあげて飛んで行きました。

ツバメがたくさん飛んでいました。きっと1番ヒナが孵ったのでしょう。

野鳥がなかなか観られないので「参加者と野鳥の数とどっちが多いか」と話題に
なりましたが「参加者 13、野鳥 20」でした。

チドリも期待したのですが、観れませんでした。

そんな中「ムクノキとエノキ」の葉の見分け方を中原
さんが教えて下さいました。

ムクノキの葉は表面がざらつき、ふちには鋭い鋸歯が
あり 昔はヤスリの代わりにもしたとか。

エノキの葉はムクノキよりやや厚く、鈍い鋸歯が葉の
先にだけある・・・など、手でさわって確かめました。

どちらの木も野鳥が好んで食べる実がつきます。

野鳥と木は大事な関係。

木についての学習もこれから深めて行けたらいいな、と思いました。

（追記）

- 待っていたアオバズクが6月10日にやって来ました！ 1羽です。
- 7月2日夜、2羽目が飛来。 無事にヒナが育ってくれますように。
- 7月15日に「ヒナが孵ってるよ！」と水ものがたり館から電話。
フワフワの羽毛のヒナが1羽、お母さんに見守られていました。
少し離れたところにお父さんが。（発見者は福田康典さんでした）
- 7月16日朝、加藤芳隆さんから「1羽しか居ません」とメールあり。
もう巣立ちしてしまったのでしょうか？ サテサテ野鳥の世界はナゾだらけ・・・
- 7月17日、いつものムクノキ（葉の少ない古木）から南側にある葉が生い茂ったムクノキに移動していました。ヒナは2羽でした。親子4羽が並んでいました。



鳥合わせの様子

（写真提供：加藤芳隆さん）





皆さんからのおたより



● 「鳥図の鳥たち 第12回」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

今回登場の鳥たちから標準和名が不明の個体が出てきます。それは「川ヒバラ」「チカラ」と「アツ鳥」です。アツ鳥は「鳥名の由来辞典」ではアトリのことで、この日本では冬に多く見れますが、この図譜の個体は夏鳥に酷似しています。川ヒバラ・チカラは由来辞典では合致するものが無く不明です。飼い鳥として輸入されたものかもしれません。



川ヒバラ（？）



アツ鳥（アトリ）



チカラ（？）

（編集係より：アツ鳥は『集鳥（集まり来る鳥）』で、大群を作るアトリのことみたいです。チカラは見た目がカウ類のようで冠毛があるのでヒガラみたいだと思いましたが、目元が赤いし、何でしょうかネ？ 川ヒバラは全く想像が付きません。何か情報をお持ちの方がいらっしゃったら編集係まで、連絡をください。）

● 「見島探鳥ツアー」・・・宮原 明幸さん（佐賀市）

すっかり恒例となりました見島です。

今回は参加者も多く総勢 13 人。

15 人乗りの小型バスを借りワイワイと萩港へ向かいました。

昨年は雨に祟られましたが、今回は3日とも晴マークです。

こちらもお馴染みの渡船「おにようず」9時5分発へ乗船します。

空は晴れ渡っていますが風が有ります。沖に出て間もなくオオミズナギドリの群れに出会い、アビの仲間？も不器用に飛んで行きます。

宇津港 10 時 50 分着。今回は定宿「北国屋」さんより車を1台借りてあり、本村港はスルーしました。宿に荷物を降ろし、車組と徒歩組に分かれ探鳥開始。手始めは、宇津港周辺・・・港横の砂見田海水浴場の草叢にはタイワンハクセキレイが群れています。

キガシラセキレイも1羽混じっていました。望遠鏡のピントを合わせる間もなく飛びましたあ。探します！墓地裏の水田へ。空です！「天気良すぎて鳥達は抜けたのでは？」一瞬不安が過ぎります。キガシラセキレイは、草叢へ戻っていました。♀タイプでした。いきなりキガシラセキレイとは幸先好い♪と見島牛牧場経由で大峠へ向かいます。

静かです。これまで外れの時でもムシクイ類とキビタキはちょろちょろ出ていました



が・・・サンショウクイの声が時々空から降ってくるだけ、あとはメジロの囀りです。車組も鳥が出ないので「八丁八反」へ行っているとのこと。

大峠の先の「キビタキの杜」へ。キマユムシクイの影が過ぎただけでした。日差しは強く、鳥がないので足どりも重い。八丁八反へ荒れ放題の旧道を下って行きます。道すがら見られた鳥は、カルガモ、アオジ、キセキレイ、それにメジロ、足どりは重いままです。八丁八反で車組と合流。コムクドリの群れに混じったギンムクドリにムネアカタヒバリ・ノジコ・ノビタキにタカブシギ、車組はキマユツメナガセキレイも見たとのことチョビット元気になりました。見島ダムへ車で迎えに来てもらい、後は宿周辺でお茶を濁します。

2日目、3時起床（笑）明ける前より観音崎方面へ。大きな羽音を立てて鳥が飛び立ちます。なあんも見えませんが、ササゴイ型のシルエットが過ぎります、なあんも見えませんが、

明けた後は「ヒーツキー♪」エゾムシクイの一声だけでした。後は、墓地裏の田圃を通り幼稚園跡へ抜ける道へ。今治より来られたバーダーよりお声がかかります。「脇道の轍の中で採餌している鳥がいるのですが？」ビンズイでした。

『ツキヒホシ・ホイ・ホイ・ホイ♪』サンコウチョウがすぐ脇の笹藪より一声。朝食後は、加藤さんの北灯台方向へ飛んでいくヤツガシラを見たとの情報を受け北灯台へ行くことに。船で一緒でした女性バーダーより「自衛隊登り口の田圃でキマユホオジロとコホウアカが見られて良かったです。」との話があり、先ずは幼稚園跡へ・・・田圃は田植えが始まっていました。ミソゴイの杜で、センダイムシクイ・コサメビタキを見て北灯台へ。サシバとカラスバト3羽でした。

ここで車組と合流「灯台でシマアオジが見られました。写真は駄目でした。」と加藤さん。「カラスバトが何羽も出ましたよ」中島さん。流石は車の機動力、徒歩組は灯台までひと歩きあります。

宿に戻って昼食。相変わらず鳥影は薄く昼食後は加藤さんに八丁八反へ送ってもらい時間をつぶすことに。ジーコンポ古墳跡の海岸でゴミの中を歩き回るマミジロツメナガセキレイを堪能し八丁八反へ戻り掛けた時、八木さんの携帯に山口大学の一行より地図付でミヤマヒタキの情報が飛び込んで来ます。

「ミヤマヒタキっ！」色めき立ちます。直ぐに車組へヒタキの出ている場所を連絡し、加藤さんに迎えを頼みます。墓地裏の田圃の奥、先の学生が陣取っています。「今、農家の車が飛ばしました。戻って来るのを待っています。」「白い花の咲いた木の下がお気に入りのようです。」

トベラの甘い匂いに虫が寄っているのでしょうか？一緒に待つことに。三々五々バーダーが集まり、人だかりが出来ています。一番見渡しの良い場所に陣取ったのですが、地べたの水分でお尻がじわぁ～と気持ち悪くなって来ます（汗）・・・仕方なく、最後尾へ避難、乾かすことに・・・その時、橋本さんより携帯に連絡が入ります。「こっちに出とるよ、直ぐに来て」佐賀組にだけ声を掛け移動します（笑）久しぶりに走りました。膝を痛めて以来歩くのも覚束無かったのですが。先程の場所とは藪を挟んで反対側に出ていました。何時も思うのですが、橋本さんの鳥を見付ける勘は凄い。

左右から木々の枝葉の迫る山道の、飛び出た枝からフライングキャッチで羽虫を狩ります。しかも、2個体。愛らしい目、舐め回します（喜）ライファーでした。

最終日、早朝観察は観音崎より、相変わらず静かです。

山道のミヤマヒタキは昨晚抜けたのでしょうか？居ません。

「昨日ビンズイの出た道の先に田と林があります。」と今治の方より教わり一緒に手招きされます。「ジシギが居ます。」チュウジシギでしょう。草叢にジッと隠れています。マミチャジナイも直ぐそばに降り立ちます。

朝食後、出発の準備をしている真っ最中、今度は宮崎さんへ情報が入ります。

「幼稚園跡横の道、農機具置き場の先でイワミセキレイ。」早速、加藤さん出動！ピストン輸送です。“キーン！”急ブレーキ（笑）イワミセキレイ轢くところでした。次便が着くまで飛ばさないよう、慎重に観察します。

尻振りダンスしながら、青虫を銜えては振り回し・道に叩き付けてゴクリッ。

なんとか全員見られました。

最後は、北灯台方面で閉めることに、またまた加藤さんに送ってもらいます。

急ブレーキ、イワミセキレイが道にいます。先の個体かどうかは分かりませんが、幼稚園跡からは直線で直ぐの場所です。後は、相変わらず鳥の出ない道をダラダラ下り、お昼からは港周辺でタイワンハクセキレイ、ツメナガセキレイのおさらいで過ごし、14時40分の「おによろず」で帰路に着きます。船上よりは、オオミズナギドリ、ウミネコ、アカエリヒレアシシギが観察出来ました。

今回、島の中の鳥数は少なかったのですがミヤマヒタキ・イワミセキレイの珍鳥に会え、そこそこ満足の探鳥行でした。来年はどんな鳥との出会いがあるか・・・ご都合の付く方は、是非参加してくださいね。



（写真提供：加藤芳隆さん）

● 「デジブック『ハス田のお客様たち』の紹介」・・・八木ひとみさん（佐賀市）

今季は幸運にも「ハイイロヒレアシシギ」「ブロンズトキ」「アカエリヒレアシシギ」と珍鳥に会うことができました。その他にも常連の「タカブシギ」、夏羽に近い「エリマキシギ」かわいい「ヒバリシギ」などで賑わいました。

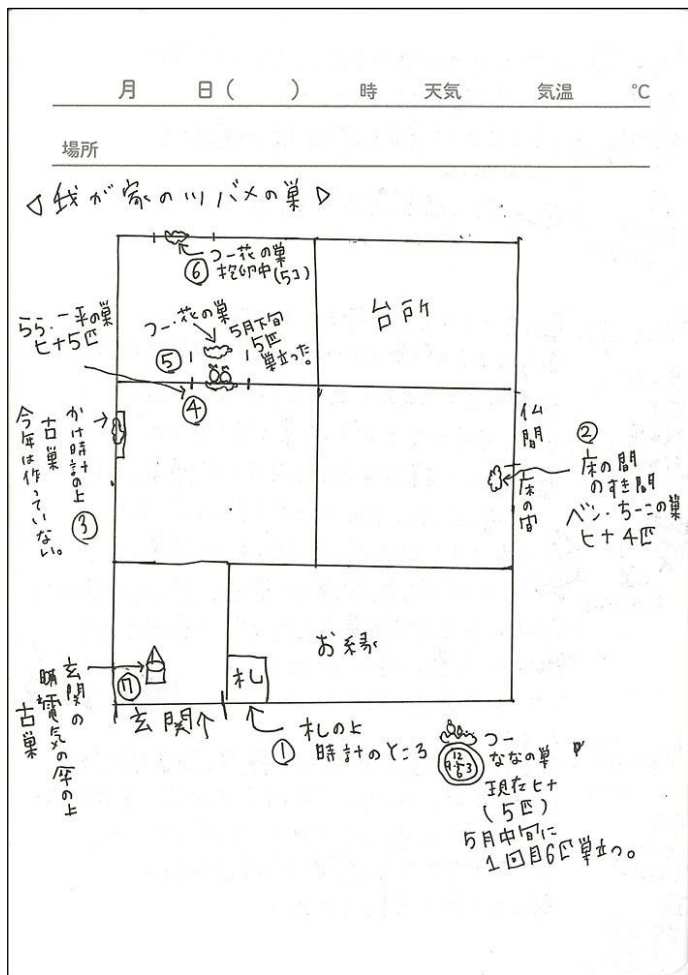
<http://www.digibook.net/d/b6448f37b00894a1a8549a648a9516cc/?m>

● 「ツバメかんさつノート」・・・相良明宏さん・良子さん（武雄市）

先日NHK テレビ「おはよう日本」で放送された「家の中で子育てするツバメ」の話題、ご覧になられた皆さんも多いと思いますが、その当事者でいらっしゃる相良さん夫妻に「ツバメ日記」を支部報に寄せていただけないでしょうかとお願いしたところ、快くOKして下さいましたので、日記の一部抜粋ではありますが、紹介いたします。

また、昨年5月26日付けの佐賀新聞に掲載された記事もあわせて紹介します。もともと、支部報200号に掲載するつもりでしたが、ちょうどラムサール条約登録関連の多くの記事と重なり、ページ数の都合で紹介できずに時期を外してしまっていました。

お初めまして、こんには。
 佐賀の野鳥の会の青柳様よりツバメノートを
 お借りしたいとご連絡を頂きまして、
 ノートをお送りしました。
 ノートが1度6月分まで書き載せましたので、
 6月までの記録をつづけています。
 舌し筆、舌し文で書きたいかと思えます。
 現在、我が家には4つの巣でヒナが誕生
 しています。オス7匹、ヒナ19匹とヒナの鳴
 き声で大にぎわいです。
 ツバメとの生活は色々大変ではありますが、
 短い期間でもありますので、私たちが元気を
 もらい楽しませてもらっています。
 なかなか野鳥の会のイベントにも参加できず
 にはいりませんが、本誌会がありましたら参加した
 と思っています。



月 日 () 時 天気 気温 °C

場所

2016年 つばめ目撃情報

1/24 宮崎、高鍋軽トラ市
 10人屋工の軒下先に7羽ほど
 今年は帰ってくるのが早かったと言われていた。

2/19 島原旅行から帰る途中、
 東の空の上空に20羽ほどいた。

2/28 自宅裏山よりツバメの声、20羽ほどいた。

3/2 馬場上空を夕方5羽ほど
 源田の芦原にて寝ている?

3/4 西の角の軒下に7羽ほど飛んでいた。

3/5 西の角の軒下に10羽ほど飛んでいた。

3/7 自宅上を1~2匹飛んでいた。

3/8 (祝) ツバメ - お帰りの!
 9:00にヒョヒョと鳴いて斜め傾りより入ってきた。
 電気の線にとまったり、古巣を見たりしていた。
 一匹、2羽で入ってきたが、ほとんどが一人だった。
 昼は留守にしていた時に飛んでいたのか、
 ゆらが数本落ちていた。お泊りはなし。
 裏山で18:30位まで2羽で遊んでいた。

3/9 (雨) 朝6:50ツバメで来た。90分ほど電気の
 線にいた。その後数回一人で来た。
 周りには10羽ほどいるようだ...
 夕方17時頃に家に帰ってきたので、
 お泊まりした。

3/10 (曇り) ツバメは朝5:00位に飛んできていた。
 2月並みの気温のため、外に出かけた
 いた。
 今日はずっと雨の輪に止まっていた。
 台所に飛んできた。
 18:15に戻ってきてお泊り。

3/11 (曇り) 朝は遅くて、なかなか
 ツバメは出なかった。
 昼はほとんど帰ってこなかった。
 夕方17:30頃帰ってきて、
 木の軒下③にずっといた。

月 日 () 時 天気 気温 °C

場所

3/12, 0: 朝は霜が降りたので、なかなか出歩けなかった。
昼は電線3本を見ていた。
夕方は18時すぎに帰ってきて、寒いから早く帰った。
昼は8羽位で遊んでいた。

3/13, 0: 朝は霜が降ったが8時位には出ていった。
7時頃、外からイセのツバメの音が聞かれた。
夕方、17時すぎに帰っていたらもうつーはちの車庫にいた。
庭内は昼から雨だった(う)

3/14, 0: 今日昼間は何回も帰ってきていた。
(風強い) 風が良かった。
夕方のNHKの天気予報で「左賀でツバメを初めて見たと連絡が入ったそう、五年よりツバメの帰省は10日程早い、何年より6日早く帰る。」

3/15, 0: NHKの有吉さんへメール。
また連絡下さい。(のこと...)
夕方は18:15に帰ってきた。
夜はネコ騒動。

3/16, 0: 8:00位から家の中をせわしなく回っていた。
夜たちが近くに来たのか...
今年、初めて家の前の電線で止まって鳴く。
夕方は18:20に帰宅。

3/17, 0: 外ではトジコさんで他のツバメと遊んでいた。
今日モクラーの上が気になっているそう...
夕方は18:30前に帰ってきた。

3/18, 0: 雨のため4月上旬位まで気温が上がった。
昼、外から帰ってきてみるとお尻を土を持ってきている!?
夕方、2匹で帰ってきた。今日は2人初めてお泊まり。(わーくんお泊まり)

3/19, 0: 朝から2人でTVのところでぎわがた遊んでいた。
夕方は16:20頃頃に帰ってきた。
つー①はちのわ
つー②は巣3で寝た(わーくんお泊まり)、
福岡様の開花 (例年より4日早い)

月 日 () 時 天気 気温 °C

場所

4/8, 0: 夜早く寝るので、朝は5時位から起きておしゃべりしてた。
朝は7:00頃からお掃除のオーさんの巣を手直ししていた。中のわらを出していた。
この巣を使うの?
夕方は18時前からお掃除で2人で遊んでいた。

4/9, 0: 今日お掃除の巣を中のわらを出したり
外ほりを少しリフォームしていた。
つーはわらをもってきていたが、花は貝殻だけ...
中に入って空りバエを駆除していた。
夜も巣で2人仲良くおしゃべり...

4/10, 0: 今朝は朝市で早産で産いたので
つーはちも4時頃からおしゃべりしていた。
6:30には11で10羽位と遊んでいた。
巣のリフォームが済んだのか、ほとんどお掃除の上などで遊んでいた。夕方は18:30頃帰ってきた。
夜は久し振りに座り込んで遊んでいた。

4/11, 0: 巣のリフォームも済んだので、外でよく遊んでいた。
2人仲良くしているのも、もう安ら。

NHK有吉さんと打ち合わせ。
カメラを借りた。
つーはち、カメラに慣れさせるため練習。
~~夜は巣で寝た~~

4/12, 0: 今日朝から2人とも元気が良かった。
また、巣の中で夜が空でゆらゆらと産卵かと思ったが違っていた。
練習しているのか。
夜は突玉が来て遅くなったが、2人とも元気に遊んで21:30頃まで遊んでいた。

4/13, 0: 昨日遅くまで遊んでいたが朝5時頃までから遊んで、空を飛翔させるから。朝から用事があったのか...
昼は巣の中にわらを持ってきて手直しした。
夕方は雨がひどかったから早くから帰って来た。
夜、1軒の里から21時頃かよって来たから2人でTVのところで遊んでいた。



月 日 () 時 天気 気温 °C

場所

4/19 〇

ななちゃん
たまご
誕生!

今日の朝月は7時まで気温が下がり
ワビメたちは重たさがにぶかった。
女子だけ5:40頃からいなくなったので
女子会があったのか。
6:30頃までななが巣に座ってゆっていた。
今日こそ産卵か?
花は10:00~巣②のリフォーム
11時頃に巣④を見てみると...
卵があったー。1コ目!
フーちゃん、ななちゃん、おめでとう!
夜はフーとアヒが寝る。ななは一人だった。

4/20 〇

今日はフーが5:30頃から出かけていった。
ななは7:00頃から産卵していたが
花が見守りしていた。フーは留守だった。
ななが巣をのぞく回数が増えた。
10時頃を見たら卵が2コにふえていた。
14時からNHKの取材。月方はなかながら
帰ってこなかった。
フー、ななはカキらになれてきた。
花は小病が、泣いていた。
夜は癒えて、みんな早く寝た。

4/21 大雨

フーが4:50から早く巣を離れてとせがまの
大雨の中、夕電線に止まり言「事」!
8時すぎから次郎が入ってきて、バトル!
すー、ななの巣は卵が3つに!
月方も次郎が居ずわり、夜もバトル
7-ラーの上でフー、次郎とお泊り。

4/22 〇

次郎が居ずわっていたため、朝月からバトル!
ちって8時すぎに出ていった。
すー、ななの卵は4つになっていた。
花は巣のリフォームに一生懸命。

4/23 〇

すー、ななの卵は5コになった。
花、フーは巣②のリフォームを続けて
いる。巣もずいぶん大きくなった。
雨が降ったので、おなな19:30頃に
寝た。

4/24 〇

ななは産卵を温める時間が長くなった。
花、フーはまだ泥を運んでいる。
帰ってくる時間が19:00頃になった。

なな
抱卵
1日目

4/25 〇

ななは一生懸命卵を温めている。
花は大きな羽を持ってきては
巣で座り心地をきましている。
フーは今日は産卵はあまりかえってこなかった。
ななは巣からあち出なくなった。

月 日 () 時 天気 気温 °C

場所

5/3 〇

「うら」がまた戻ったので、朝月から大バトルも
戻りが3回あったから夕方前から13羽羽に。
巣に入っている時は大・大バトルも
フー、なな、花が一懸命おい助していたが
緊急局出す、みんなお泊り。
世の羽はかなり小さいので「おたすの子供」?
産後、サカキ裏、台所と上手に寝て寝ていた。

5/4 〇

台所に「まな」が居たので6時くらいから
フー、花が追いまわしていた。
8時にはおなな出ていたので、すっかり静かにな
った。
花も今日は卵をまたためている。
花の玉子、見たら6つになっていた!

小さい
たまご
5つ
に並
んで!

5/5 〇

朝、もう一羽お雛に入ってきていた。
なな、花とも抱卵の時間が
長くなった。
夜、アヒたちが早く寝たので
フーも19時すぎに寝た。

花
抱卵
1日目

花七
誕生
アヒ
5/19~20

5/6 〇

フーが3時すぎからもぞもぞしていた。
なな、花も巣にいる時間が多。
フーは産卵はほとんど帰ってこなかった。
夜も19時すぎにすぐに寝た。

ワビメの
寝姿。
首を中に
入れる。

5/7 〇

源田でマルチ張りをしていたら、フー、花、なな
がよく遊びに来ていた。
ななは抱卵1日目なので、巣に13
時がタタ。 (14)
フーは産卵は出さず。
月方は、世のワビメと源田で遊んでいた。

5/8 (月)

フーが朝月から元気な声で鳴いて
気分が入っていた。
自宅前でマルチ張りをしていて電線に
止って、おななよく鳴いていた。
15時頃、フーの鳴きかたがおかしかった
ので、巣に近づいてみると、4-4と小エな声が
金魚で見る2~3匹生まれていた。
抱卵から15日目!

なな
七
誕生!
おめでとう!

11並
五
本
松
樹
店
ワビメ
帰ってきた

フー、花、ななはみんなおめでとう。
負けてお雛の花はなぜか「うら」を好んで
遊んでいた?



月 日 () 時 天気 気温 °C

場所

5/9 ☁️ ツーが朝からエサやりに一往無返命だった。
1日は6工全てかえっていた。
ヒナは昼は全く鳴かないので心配したが
夜更暗になると元気がよく鳴いていた。
ななが困っているようで、ツ一を挿していたが
ツ一は19:30すぎにすでに寝ていた....

5/10 ☁️ 夕方、帰ると「何と! ネコか」
台所から出てきた。
そのまま、ついたてをジカプして
出ていった。
(ナナ) 外に出る際はつい立ては
もっと高くした方がよい



5/11 ☁️ 9時頃からNHKさん見えらへて取材をされた。
生まれたヒナの本様子。
ネコよけ、ハビ文筆など。
ちびがふんをするようになってきた。
鳥を声もずいぶんしっかりなってきて、元気のより。

5/17 ☁️ 夕方から「らら」が来たので「バトル」
ららは掛け軸で寝た。
また目は
まっくら。
おがやぶ
生かした
いかに
したい



5/12 ☁️ ヒナが朝から鳴くよりになってきた。
ら、んも沢山かちていたので、食欲が
おうせいより。
ち日目になり、電気の線を消すと
音を出さずよくなった。

5/13 ☁️ 今日、夕方から食欲が戻ったので
19:20頃には家の中をまわり音にした。
ツ一も23:00頃まで寝たが、起きてること
なく、ぐっすり寝ていた。

5/14 ☁️ 朝からイ代のツバメが4羽ほど入ってきて
家の中、玄関、大バトル。
8時前にやって音が出た。
ラッパ音(チビたち)も巣に音を出して
姿もずいぶん出来上がってきた。頭に毛が生えて
いた。
玄関にキキ入「ハ」の音も出てきた。
また体が小さいか「鳴き声」が大きいので、ツ一の
子供。今日はお泊まりした。



5/15 ☁️ 今日朝からペンがきて、玄関でメスを
言っているより。
不安ながらも、まだペにはなまないていり。
昨日まで5匹しかヒナが産まなかった。
ツ一は、花がそろそろ産卵なのかな今日から
テレビの音で寝た。

月 日 () 時 天気 気温 °C

場所

6/1 ☁️ 昼からNHKの方が取材にこられた。
ららちん
17日目
Ben. ち-二、空敷にわらと泥を持って
きていた。でも、全然おすんでない。
ななは昼間は、ヒナたちと居るの
15時頃に帰ってこなかった。

かんはな

6/2 ☁️ NHKさん、本日で最後の取材。
ヒナの姿をとりたてて、ヒナを挿し...
10時頃「はしんち」にいて、飛ぶ練習
をしていた。少しは、とした。
花のヒナは、単に立つようになった。
ららは玉子が2つになった。



6/3 ☁️ Ben. ち-二は泥が上手つけらわばいいんだけど。
灰が床に歩いてかきかいた。
花のヒナが羽をバタバタさせて練習して
いる。花もエサの量をへらして、巣立ちを
りながしてはいる。

6/3 ☁️ ツ一、ななは巣をリフォームし直し始めた。
ららの玉子は3つになった。
Ben. ち-二は、はしがができてきた。
かんはな

6/4 ☁️ 朝はイ代のツバメが入ってきて
ツ一とバトル。
花ヒナは隠れて様子を見ていた。
ペン、ち-二は泥をたくさん持ってきて
11:10
かんはな
入った。
夜はツ一は帰ってこなかった。
花は痛くてすぐに寝た。

6/5 ☁️ 一平、ららの玉子は5つになった。
ららは控印しおめ、一平は日中もほんで
出かき電線に止まらうを見守る。
ツ一、ななは昼間は数回帰ってきたけど
花がエサやりを一人でやっている。
らら
控印
1日目
ペン、ち-二は18:00頃に帰って帰る。
ちびは夕方15時頃にこなかった。
ツ一、ななは帰ってこなかった。

6/6 ☁️ ツ一はななと11時頃の方が長い。
花は一往無返命。ヒナに巣立ちを教えている。
ちびは台所で2匹で来ていた。
一平、ららは控印をかんはなっている。
ペン、ち-二は泥を運んでいるが
完成までには...。19時に2匹で帰って帰る。
夜は花ヒナを11時半の車道。



今回提供していただいた「つばめかんさつノート」は2015年～2016年分で、1冊58ページです。紹介した一部の内容では話がつながりませんので、相良さんのご厚意により全ページを公開できることになりました。下記のリンクからPDFファイルをダウンロードすることができます。<http://yahoo.jp/box/QZN3Qb>

うまくいかないという方は編集係（馬場）まで連絡をください。メールで対応をします。

ツバメ一家とだんらん

【武雄市】

武雄市武内町真手野の相良明宏さん(50)＝顔写真＝宅の居間に、今年もツバメが巣をつくった。ヒナも育って巣立ちの時期を迎え、家の中は飛び交う親子で大にぎわいだ。



相良さん宅の居間の巣で待つ親子どもたちに餌を運ぶ親ツバメ＝武雄市武内町の相良さん宅

武雄市・相良さん宅 居間などに四つの巣

ツバメとの出会いは5年前。自宅のドアにぶつかって気絶したツバメを「懐抱して放したら、2日後に戻ってきて玄關に巣をつくった。その後、3年は音沙汰が無かったが、昨春、同じ夫婦が温かく見守っている＝武雄市武内町の相良さん宅



巣立ち前大にぎわい

ツバメとの出会いは5年前。自宅のドアにぶつかって気絶したツバメを「懐抱して放したら、2日後に戻ってきて玄關に巣をつくった。その後、3年は音沙汰が無かったが、昨春、同じ夫婦が温かく見守っている＝武雄市武内町の相良さん宅



居間の巣の中で親からの餌を待つツバメのひな。相良明宏さん、若子さん夫婦が温かく見守っている＝武雄市武内町の相良さん宅

7時半に「全員」いることを確認して戸締まりする。朝は少しでも遅れると「ピー、ピー」と催促するので「自然の目覚まし時計です」と妻の茶子さん(39)。自由に入り、鏡の前でおどけてみせるなど、笑いを誘うしぐさも。

網戸がつけられず虫に困りそうだが、「蚊や虫はツバメが食べてくれるで、昨夏は蚊に刺されなかった」(明宏さん)という。「車を覚えていて畑について来て遊ぶ」知らない車が来ると警戒して家に戻る。「産まれたよ、と知らせるよう卵の殻を茶子さんの目の前に落とす」「パソコンなど大切にしている物にはフンを落とさない」など、エピソードもいっぱい。

8月ごろまで「同居」が続く。

(小野靖久)



● 「道東探鳥行」・・・宮原 明幸さん（佐賀市）

【探鳥地】 根室周辺

【期 日】 平成 28 年 6 月 12 日（日）～15 日（水）

【参加者】 青柳隆、青柳良子、酒井喜美子、宮原明幸

（※掲載の写真はすべて青柳隆さん撮影）

今回は、福岡の酒井さんより落石クルーズのお誘いを頂き行って参りました。

佐賀空港 9 時 50 分発の飛行機で中標津空港 13 時 56 分に到着です。

日差しはありますが、寒い！ 佐賀は連日 30℃近い気温でしたから、夏服に毛の生えた程度の服装で出て来た青柳さんのご主人は、ランニングに半袖シャツの装いです（笑）

レンタカーに乗り込み探鳥開始！最初は野付半島へ。

寒さのせいでしょうか？ 花々は遅れているようです。夏鳥達はノビタキ、オオジュリン、オオジシギ、コヨシキリ、シマセンニュウ、カッコウ、ノゴマ等々、出揃っています。ベニマシコも来ているとハイドの掲示板に書いてあります。

※ハイド・・・野鳥を観察するための小屋（野鳥を驚かせず観察するための小屋が、野付半島の探鳥ポイント毎に設置されていました。語源は Hide「隠す」「隠れ場所」です。）

外の寒さもありハイドの中より観察します。ハイドからはオホーツクの海と野付の湿地が見渡せます。湿地の沼にも海にも渡り途中のカモが群れています。

日暮れまで野付で過ごす予定でしたが、冷えて来ました、根室の宿へ向かいます。

道すがら、電柱のオオジシギ、電線のノビタキ・カッコウ・カワラヒワ、コヨシキリの歌声、エゾシカ、タンチョウ、キタキツネ、etc なかなか先へは進めません

途中の川では雛を 8 羽連れたカワアイサ、背中に雛を乗せています。

ショウドウツバメが海岸に群れ飛び、オジロワシも其処此処に出ます。

根室に着く頃にはすっかり暮れていました。

根室に到着、真っ直ぐイオンへ冬服の調達です（笑）

夜は、以前に根室グランドホテルを利用した時、每晚通った『お食事処「釜丁」』で地元の食材に舌鼓。

2日目 曇りのち雨

午前 3 時起床、曇ってはいますが夜は明けています。 気温は 6℃、佐賀の真冬です。

今日は、霧多布（きりたっぷ）の林道を 1 日廻る計画でしたが、午後からの予報は雨。

午後は青柳さんのお知り合いを訪ねることにして、出発。

最初は糸魚沢（いといざわ）林道（全長 16 km）、舗装は有りませんが、倒木とかは無く良く管理されています。 植生は、亜寒帯針葉樹と温帯広葉樹の混交林でトドマツ・アカエゾマツ・ミズナラ・イタヤカエデ等々、馴染みの無い木々が立っています。

林縁はクマザサか北海道ラワンブキ（コロポックルのお話しに出てくる大踏です。 釜丁でも饗されました。「美味しい！」）です。

“ヒンカラカラカラ・・・♪” コマドリが歌っています。 遠く近く“ヒー・チーン♪” トラツグミ、“チッチッチ・カラカラカラフヨフヨフヨ♪” コルリも歌いだします。

“キョロキョロキョロリ♪” ルリビタキでしょうか？ イカル、アオバト、ミソサザイ、

センダイムシクイ、エゾムシクイ、林道は小鳥の囀りに満ちています。
林縁にアカハラが出て来ます。アカハラはかなりの個体数が観察出来ました。
途中、支線でしょうか？チェーンやゲートで封鎖された道がいくつもあります、風潤林道・ルリラン林道の分岐を過ぎ、道道123号線「火散布（ひちるっぷ）」へ抜け出ます。
林は深く、声はしますが姿は見せません『どうします？他を回りますか』『楽しいから、良いよ』 地元のコンビニ・セイコーマートで朝食を済ませ、再び林道へ。
糸魚沢林道の真ん中より風潤林道へ。途中開けた林ではアオバト・オオジシギを確認。
モズ・アオジも出ます。 道端に大きなフン（恐） ヒグマでしょう。
風潤林道を往復し糸魚沢林道に戻ります。 林道入り口の湿原前でミヤマカケスのお見送りがありました。 雨は落ちたり止んだり。

上風連（かみふうれん）の青柳さんのお知り合いの牧場へ向かいます。まずは昼食。
店がありません。 走り回りやっと別海町（べつかいちょう）中心と思しき地域で見付けたラーメン屋さん。「美味しい！ 当たり」でした。

またまたオオジシギがいたら止まり、ノビタキ・アオジで止まり、ベニマシコも見付け、やっと着きました。

牧場の裏には、子供さんが「ミズトモくん」と名付けたタンチョウが棲みついていた。

訪問後、春国岱（しゅんくにたい）ネイチャーセンターに立ち寄ります。
レンジャーのお嬢さんより風蓮湖（ふうれんこ）で羽を休めるミヤコドリ・オジロワシを見せてもらい、センター前ではオオアカゲラに会いました。



左：オオジシギ
右：オジロワシ

今日はここで幕、再びイオンへ防寒着調達へ。寒い1日でした。 皆さん明日のクルーズに備え、服を買い足されます。

明日は旅のメインイベント落石クルーズ。 予報は「午前中雨、午後より曇り」
乗船時間を9時～11時30分から13時～15時30分に変更しました。
道東探鳥行での土産は何時も此処！「マルシェ・デ・キッチン」で済ませ、宿で酒井さんと合流。 先の「釜丁」で顔合わせです。

3日目 曇り

5時出発、クルーズまでは根室周辺のハイド巡り。

「市民の森ハイド」へ、根室の市街地をちょっと抜けた処に在ります。 お隣の北方四島交流センターでは5時だと言うのに人が集まり訓練？か行事？が行われています。
市民の森駐車場の左端より遊歩道に入ります。 くねくねとした坂道を下り100m程の所にオレンジ色のハイドが在りました。

ウグイス・コヨシキリ・エゾセンニュウ・センダイムシクイ・ミソサザイ・エゾムシクイ、遠くでカッコウも鳴いています。

ちょっと人里を外れただけの場所とは思えない、深い森です。

『佐賀の森林公園・・・ おこがましい。』（涙）

続いて明治公園。ここは町中、噴水や遊技場のある広場でいきなり“トッピンカケタカ♪”エゾセンニュウが高らかにうたいます。“ポポッ・ポポッ・ポポッ♪”ツツドリ、遠くでカッコウも鳴いています。

ウォーキングの人が行き交う遊歩道沿いをアオジが飛び交い、“ケキョケキョケキョ♪”ウグイスが喧しく鳴いています。ツツドリが2羽、大きな木の天辺で狙っていました。

ハイドは、小さな池の横に立っていました。ハイドの側には餌台も設置してありますが、この季節はお休みです。池の垣根にはベニマシコの番い。真っ赤の夏羽の♂の綺麗なこと、たっぷり見せてくれます。サイロ跡の芝地ではハシブトガラ。

※ 青柳カメラマンがたっぷり写されています。きっと一緒に掲載されると思います。

ご期待ください。（編集係注：ツツドリだけです。

期待に沿えずすみません）

落石（おちいし）へ、早めに移動します。

12時が酒井さんとの待ち合わせ時間ですので、落石岬で時間調整。ここは、太平洋に突き出た岬です。湿原の長い木道を抜けたら海岸線は断崖絶壁となっています。

湿原には、咲き遅れのミズバショウの花、花の終わったサカイツツジも見られます。

木道の先は広い草地。ノビタキ、オオジュリンが草の先に止まり、彼方此方に紫色のハクサンチドリが咲いています。

ヒバリが餌を啜え飛びます。断崖の先の海原には鳥が浮いていますが遠い。

12時、落石クルーズ「エトピリ館」へ。既に酒井さんは手続きを済まされています。

3人は隣のラーメン屋さんで昼食です。

「エトピリ館」の係の方より『それでは寒いでしょう』

（イオン調達の防寒着で身支度バッチリのつもりでしたが）と防寒着が貸し出され、その上からライフジャケット、皆さんお相撲さんのようになっての乗船・出発です。

案内は、クルーズガイド新谷耕司氏。

※クルーズの様子は新谷さんのブログの引用です。

<http://eastern-hokkaido.blogspot.jp/>

『今日はユルリ島周辺にはほとんど海鳥の姿が見えず、非常に苦労致しました。

ユルリ島やモユルリ島の繁殖地の海域には、海鳥の姿が皆無という状況。エトピリカの姿も全然見られません。仕方なく、2島のかなり沖合を40分間にわたり熱心に探査いたしました。エトピリカが2回ほど船の近くを通り過ぎるのを何とか観察。

船の中に立ってられないほどの「うねり」の中、それが限界でした。

ハシボソミズナギドリ（1）を超至近距離で見られたことと、ウミガラスが4羽出てくれ



ツツドリ



エトピリ館

たことが、唯一の救いでした。』

と不作だったようです。鳥をなんとか見せようと甲斐甲斐しくされている姿が好印象です。九州より参加の私達は大満足。ウトウ・ケイマフリは“わんざ”と出ました。 シロエリオオハム・ウミスズメも飛びました。ウミガラスは手の届くほどの至近距離での観察ですし、エトピリカも赤い嘴を見せて飛んでくれました。

ユルリ島では、オオセグロカモメのコロニーが有るようでカモメが騒ぎ飛んでいました。オジロワシが巣を襲っているようです。

※ 夏のクルーズは、7月10日頃がベスト、冬は2月～3月だそうです。クルーズの後は、酒井さんとお別れし、納沙布（のさっぷ）岬まで走り、幕。

最終日 曇り

5時出発。最初は春国岱ネイチャーセンターの森へエゾセンニュウ、エゾムシクイ、センダイムシクイ etc 小鳥の歌声の降る中を一巡り、ウソも出ます。

お見送りはエゾリスでした。

今日のメ、ポー川史跡自然公園へ。9時の開園と同時に到着、民族資料館の受付で入園料310円を払います。

以前、訪れた時には入園の際は熊鈴の携帯が必須でしたが？ 『熊鈴は、着けなくて良いのですか？』 『鈴は要りません、熊の糞が落ちていたら注意してください。』と軽いご返事。 熊に注意するのか？ 糞に注意するのか？ 分かりませんが（恐）

民族資料館や開拓村の復元施設には、目もくれず森へ。 森へは標津湿原の木道を渡って入ります。 湿原はこの寒さ！ 花はまだです。

ノゴマが歌っています。 ノビタキもあたりまえ、オオジュリン・アオジが飛び交い、湿原には魚の腐敗臭・・・湿原の隣はホタテ貝の加工工場、ホタテの殻が山と積まれています。

木道を抜けポー川を渡り、森へ“トッピンカケタカ♪” エゾセンニュウがお尻を見せて逃げます。 後は通り道の笹だけが動いて藪の奥。

“ポポッ・ポポッ・ポポッ♪” ツツドリが湿原の縁の大木の天辺で歌っています。

“ピッコロ・ピッコロ♪” 朗らかにキビタキも歌います。ハシブトガラがチョコチョコ、ヒガラもチョコチョコ。 “キョッ・キョッ・キョッ♪” グラ類の声。

カリカリウス遺跡（古代の穴居住宅跡が窪みとして埋まらずに残っています。）の復元住居の床にはヒカリゴケが光っています。 大きなミズナラ、【熊出没中、通行禁止】の看板。

“ツィーツィー♪” 細い声、枯れ木を螺旋状に登る鳥影。ラッキー！ 『キバシリです！』

大きな幹を登り上がった隣の木へ。3人大喜びで観察しましたが??? 背中が暗い焦げ茶色、斑点も無い・・・幼鳥？ゴジュウカラでは無い！ なんだったのでしょうか？

沢沿いの木の洞に餌を啜えたゴジュウカラが飛び込みます。アカゲラが2羽、大騒動。

あっという間の3時間。 戻りかけの湿原でも“チリリリリ♪”と虫のような声。マキノセンニュウでしょうか？

こちらはお馴染みがないから鳴き声だけでの同定は無理！



シロハラゴジュウカラ

最後は湿原出口でベニマシコのお見送りでした。

道東探鳥は、ここで終わり。防寒着を脱ぎ捨て 14 時 45 分の飛行機で真夏の佐賀へ。最終日のお昼もラーメンでした（笑）

【観察出来た鳥種】シロエリオオハム、ウミウ、ヒメウ、マガモ、カルガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、ホオジロガモ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ、カワアイサ、カイツブリ、ウミガラス、ケイマフリ、ウミスズメ、ウトウ、エトピリカ、ハシボソミズナギドリ、オオセグロカモメ、ウミネコ、アオサギ、タンチョウ、オジロワシ、トビ、キジバト、アオバト、カッコウ、ツツドリ、ミヤコドリ、オオジシギ、オオアカゲラ、アカゲラ、コゲラ、ヒバリ、ショウドウツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ミソサザイ、コマドリ、ノゴマ、コルリ、ルリビタキ、ノビタキ、トラツグミ、アカハラ、ウグイス、シマセンニュウ、エゾセンニュウ、コヨシキリ、キビタキ、ハシブトガラ、ヒガラ、シジュウカラ、シロハラゴジュウカラ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、ベニマシコ、ウソ、イカル、スズメ、ムクドリ、コムクドリ、ミヤマカケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス



有明海の満潮時刻 (白石・住ノ江港)



8月	6(土)	11:04/5.4m	23:30/5.5m	9月	3(土)	10:12/5.6m	22:31/5.7m
	7(日)	11:32/5.2m	23:52/5.3m		4(日)	10:41/5.5m	22:54/5.6m
	11(祝)	1:26/4.5m	14:21/4.1m		10(土)	1:20/4.2m	14:52/4.0m
	13(土)	4:06/4.1m	17:48/4.2m		11(日)	2:50/4.0m	17:02/4.1m
	14(日)	5:32/4.4m	18:47/4.6m		17(土)	9:24/6.0m	21:52/6.0m
	20(土)	10:22/5.9m	22:55/5.9m		18(日)	10:09/6.1m	22:29/6.0m
	21(日)	11:03/5.8m	23:28/5.8m		19(祝)	10:51/6.0m	23:03/5.9m
	27(土)	3:39/4.3m	17:22/4.5m		22(祝)	0:07/5.3m	12:55/5.0m
	28(日)	5:27/4.5m	18:41/4.8m		24(土)	1:36/4.4m	15:19/4.3m
					25(日)	3:18/4.1m	17:09/4.4m

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

- 東よか海岸
潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！
- 鹿島新籠海岸他
潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。）





最近の新聞・情報誌の記事から

探鳥日記 中村 さやか

2016年4月
カワセミ
嬉野市
Common Kingfisher

メス 赤い口紅している

「カワセミが大好き」という方はとても多いです。まるで宝石のような美しい青とオレンジ色のおなががきれいな鳥です。初めて見た方はその美しさと小ささに驚かれることが多いです。写真で見ると大きな鳥のように思えるのですが、スズメくらいの大きさしかありません。昔はきれいな川にしか生息していないと言われていましたが、今では都会の小川や佐賀のクリーク沿いなどでも普通に見られます。

「チーッ」という独特の鳴き方で、声を知っていると鳴き声だけでいることが分かります。雌雄同じ色ですが、メスは下クチバシが赤いです。メスは口紅をしていると覚えてくださいね。
(日本野鳥の会県支部幹事)

オス

メス
下のクチバシが赤い

(16/4/1 付け：佐賀新聞)

「やりたいこと楽しんで」

突出した才能を持ちながら、学校生活になじめない子どもたちに活躍の機会を与える「異才発掘プロジェクトROCKET(ロケット)」の親子セミナーが18日、長崎市の伊王島であった。ゲスト講師に招かれた佐賀県武雄市の鷹匠、石橋美里さん(ひし)は「今の自分がやりたいことを、楽しみながら努力して」とメッセージを送った。

同プロジェクトは日本財団と東京大先端科学技術研究センターが、2014年から共同で実施している。セミナーには県内外から親子連れ約100人が参加した。幼い頃から鳥に興味があったという石橋さんは、小学5年生でハリスホークを

飼い始め、独学で訓練方法などを習得。現在は猛禽類のイベント出演や害鳥対策などを行う武雄市の会社で働いている。

講演では、猛禽類との触れ合い体験や鷹の演技など交えながら「子どもたちに夢を追いかける大切さや仕事の楽しさを伝えた。絵を描くことが好きだ」という熊本市の絵師一創君(いち)は「石橋さんは小さい頃から鳥を育てているから経験が豊か。鷹は手に乗せるとすごい迫力で羽がきれい」と話した。

セミナーではこのほか、子育てに悩む保護者向け講話や子ども同士の交流イベントなどもあった。

(三代直矢)

伊王島で「異才発掘」セミナー
鷹匠の石橋さん メッセージ
2016.6.20. ながせき

石橋さん(左下)と鷹のパフォーマンスに興味津々の子どもたち
—長崎市伊王島町1丁目、ヴィラ・オリンピック 伊王島

(16/6/20 付け：長崎新聞／長崎市の引地秀司さん提供)





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：8月7日(日)、9月7日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：8月2日(火)、9月6日(火) 10:00~ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：8月13日(土)、9月10日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：8月14日(日)、9月11日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：8月21日(日)、9月18日(日) 8:00~11:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：8月28日(日) 8:00~11:00、9月25日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

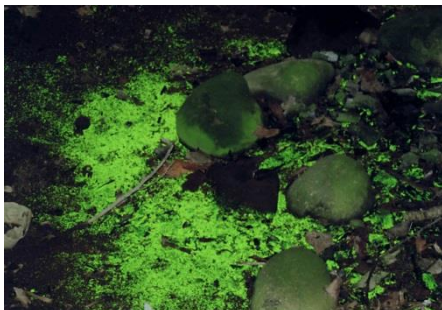
場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：9:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員 100 円 一般・中学生以上 200 円 中学生下無料)

※8月の観察会はお休みします。 9月からの観察会にご期待を！

『北海道・道東探鳥行 Part 2』

(撮影：青柳 隆さん)



左上：ノゴマ

左下：古代住居跡で光るヒカリゴケ

右：牧場裏に遊びに来る

タンチョウ「ミズトモくん」

～編集部からのお知らせ～

① 詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

② 投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯:090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp





観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①8/28 ②9/4 佐賀市・東よか干潟



①8月28日 ツバメのねぐら(佐賀市川副町)



③9月18日 鏡山(唐津市)



④9月25日 佐賀市・林業試験場



表紙の写真「ハス田のお客様たち」



- 左上：エリマキシギ
- 左下：アカエリヒレアシシギ
- 右上：ハイイロヒレアシシギ
- 右下：ブロンズトキ

撮影：八木ひとみさん





観察会などのご案内 (2016年8月～9月)

①8月28日(日)

夕暮れの干潟観察会 & ツバメのねぐら入り観察会(佐賀市)

[時間&場所] 17:00 佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台

※17:00～18:00の干潟観察に引き続き、会場を移動して、18:30～19:30に「ツバメのねぐら入り観察会」を行います。ツバメのねぐら入り観察会に直接参加希望の方は、有明海漁協・大詫間支所駐車場に**18:15**集合(早津江川の川副大橋を渡り終わってすぐ急角度に左折したところ)

[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
青柳 良子さん(小城市) 090-1659-7353

[見どころ] 夕日に輝く干潟と、鳥たちを観察した後、春から夏にかけて巣立ったツバメの若鳥たちが集団で休む川辺のアシ原を観察します。

②9月4日(日)

東よか干潟(大授瀬)観察会(佐賀市)

[時間&場所] 08:00

佐賀市東与賀町 東よか干潟展望台

[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225

加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560

[見どころ] 秋の渡りの時期です。秋の装いとなったシギ・チドリたちを観察しましょう。

③9月18日(日)

鏡山・ハチクマの渡り観察会(唐津市)

[時間&場所] 08:00 唐津市鏡山の山頂駐車場

[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085

[見どころ] 渡りのピークを迎えたハチクマ&ハイタカ、アカハラダカ、オオタカなど猛禽類。穏やかな天気になりますように。

④9月25日(日)

林業試験場野鳥観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00

佐賀市大和町の県林業試験場駐車場

[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085

中島 由美子さん(基山町)080-1778-2077

[見どころ] 工事で様変わりした森林公園に代わって人気の探鳥スポットに! ※当日は、林業試験場の建物は閉館しており、トイレは使用できません。



共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
 公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
 電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636
 日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸
 事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-8863-5659)
 〒849-1315 鹿島市三河内 2974-1
 郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」